



永原学園地域子育て支援センター  
**さんこう・ぽぽらだより**  
 令和7年2月発行・第214号  
 認定こども園西九州大学附属 三光保育園  
 TEL:0952-31-6877



### 「こどもの気づき」

小春日和を思わせる暖かい日が続いた週の土曜日。

ウサギさん達のお世話で飼育小屋にいた私をこども達が大声で「Y先生～！こっちに来て～！！」と呼びました。「どうしたの？」とカメさん池まで走っていき、「あそこの小人さんたち、かわいそうだよ。倒れたり埋められたりしてる！」と、指さして教えてくれました。

よく見ると、周囲を柵で囲んだフェニックスの根元の所に3体の陶器の小人が四方に転んだ状態で放置されています。萩の花が満開の際には気づきませんでしたでしたが、葉が枯れて見通しが良くなりこども達の目にとまったのでした。子ども達には気づきを教えてくれたことに感謝を伝え、ウサギの世話が終わったら柵の中に入って直しておくことを約束しました。その後も、築山に開いた穴を教えたり、チューリップの芽が出ていることを発見したり、バケツの中に貯まった砂をどうすればいいかを聞かれたりと、のんびりした土曜日ならではのかわりがあり、こども達の観察力の育ちや考えていることや分かり楽しい時間を過ごしました。

子ども達は日々進化している存在です。こどもの気づきから大人も大きな学びをもらっていると実感しています。  
 (三光保育園長)

### ♪育児相談・食育相談をしています♪

三光保育園及び三光幼稚園では、育児・食育相談を受け付けています。お気軽にお申し込み下さい。

※毎月第3火曜日の14時～16時までは、西九州大学短期大学部教員による、食育相談を行っています。事前にお電話でお申し込みの上、ご利用下さい。

**(受付時間:平日の9:30～17:00まで)**

さんこう・ぽぽら(園庭を含む)開放の時間帯について

【開園日】〇月～金(祝祭日・お盆・年末年始を除く)

【時間】 〇9:00～12:30、13:30～16:00

※12:30～13:30 昼休み・準備の為閉園

#### 【お知らせ】

- ※園行事の為、ご利用できない場合があります。
- ※出前支援の場合は、担当職員が不在になります。
- ※ご希望の場合は電話でお問い合わせください。

1月はお店屋さんになったり、お客さんになったりして、お買い物ごっこを楽しみました。そして、絵の具遊びでは、筆や刷毛、ローラーなどいろいろな道具を使ってダイナミックにお絵かきをしましたよ♪



### 「シニアサロンぽぽら」

子育て支援センター「さんこうぽぽら」では、月に1回地域の方におこし頂き、楽しいひと時を過ごしています。

2月17日(月)…料理(お好み焼き)

3月3日(月)…ひなまつり会



### 2月・3月の「子育て支援事業」のお知らせ

#### ①実施日

- ・2月 5日(水)…東与賀よかよかサークル  
※東与賀保健センターで行います。
- ・2月 13日(木)…なかよしミックス
- ・2月 18日(火)…パパ講座【嶋本さん】
- ・2月 19日(水)・20日(木)…フリーデー
- ・2月 21日(金)…赤ちゃんの日(ベビーダンス)
- ・2月 26日(水)…育児講座※分園 PINO にて行います。
- ・2月 27日(木)…高木瀬あいあいサークル  
※高木瀬公民館にて行います。
- ・3月 4日(火)…育児講座(おしゃべり会、先着5組)
- ・3月 5日(水)・7日(金)…フリーデー
- ・3月 12日(水)・13日(木)…フリーデー
- ・3月 19日(水)…高木瀬赤ちゃんサロン  
※高木瀬公民館で行います。

#### ②時間:10時～12時

#### ③開催場所:子育て支援センター・運動場

**※事前の電話での申し込みが必要です。**

**2月分、3月分の申し込み 2/3(月)9時半～17時**

- ※赤ちゃんの日は兄弟児の参加はご遠慮ください。
- ※フリーデーは予約は必要ありません。ご都合が付く日にご来園ください。
- ※感染対策にご協力ください。
- ※詳しくは「さんこうぽぽら」HPをご覧ください。

## 保育・教育職員養成の現場より

子ども学部子ども学科 草場 聡宏

今年度、全学共通教育科目「データサイエンス入門」を担当しました。この科目は国が進めるデジタル人材育成プログラムに沿った形で、大学では R3 年度、短期大学部では R2 年度から新規開設の科目です。今後数年内に全国の大学・短期大学で必修化されると思われます。

「データサイエンス入門」って何を学ぶの？ 授業のねらいを簡単にご紹介すると、①急速に進化する DX について理解し、データや AI の利活用について具体的に知る。②正しくデータを読み取る力を身につける。③表計算ソフトなどを使って簡単なデータの集計や加工の方法を知る。④データ・AI 活用についての留意点や関連する法律・規則を知る。⑤AI と人との関係について考え、人としての能力開発を自主的に行う態度を身につける。などです。

授業では、「コンビニの店長になったつもりで商品の仕入れを考える」というトピックがありました。店舗の立地状況(住宅地か、オフィス街か、幹線道路沿いか等)、ターゲット層(年代、職業、性別 等)、季節、天気、店舗近くのイベント等々、売り上げに関係しそうな要素は数多くあります。現在では、ポイントサービスの利用により、購入者の年齢、住所、場合によっては趣味や職業、おおよその年収、他社を含めた購買履歴とその時の購買商品が紐付き、それらの膨大なデータを人工知能(AI)が分析して、仕入れ予想や販売促進が行われます。

デジタル人材育成プログラムは小中高校の教育にも影響しています。小学校で必修化された「プログラミング教育」や今年度の大学入試共通テストで導入された「情報 I」もその 1 つです。

「プログラミング教育」はプログラマーを育てるためではなく、プログラム(が内蔵されたもの)やデータが社会全体にどのような影響を及ぼしているのか、デジタルに「使われる」のではなく「(上手に)使う=活用」するために必要な基礎的知識や技能としての「プログラミング的思考」を身につけるためのものです。「プログラミング的思考」を簡単にまとめると「自分の頭で、筋道を立てて考え、必要に応じて考えを修正しながら、結論を導く」こと(論理的思考)です。

先が見通しない情勢の中で、これからの時代を担っていく「自分で考え自分で決めて行動する子ども」を育てる保育職員・教育職員養成のために、子ども学科の教員としてこれからも頑張っていきたいと考えています。